

一般質問通告書

NO 1

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により
 通告します。

平成27年2月19日

議席番号 16番

東村山市議会議長 様

質問者 石橋 博

記

番号	質問の項目と要旨
<p>1 (要旨)</p>	<p>安全教育の更なる充実を！</p> <p>東日本大震災などの自然災害で多くの子どもが被災したことや池田小学校の事件を始めとした学校への不審者侵入事件、広島市や日光市の登下校中の誘拐殺人事件、紀の川市での殺人事件、携帯電話やスマートフォンでネット犯罪に巻き込まれるなど、子どもを取り巻く多くの危機が過去に例のないほど深刻な状況になっています。</p> <p>このような状況の中、一昨年末、中央教育審議会学校安全部会で、「学校における安全教育の充実について」という審議のまとめが出されています。</p> <p>そこで、質問いたします。</p> <p>(1) 審議のまとめの中で、児童生徒が自らの安全を確保するための行動が出来るようにする観点から、その内容が不十分との指摘がありましたが、教育長のご見解を伺います。</p> <p>(2) 日野市立平山小学校が文部科学省研究開発校に指定され、「生きぬく科」という教科を想定し、年間指導計画作成や教材開発に取り組んでいると聞きましたが、教育委員会としてこの研究開発校の取り組みをどのように評価しているか、伺います。</p> <p>(3) 今後、教育委員会として、児童生徒が自らの安全を確保するための行動が出来るようにする観点から、各学校の学級活動を中心とした安全指導の見直しを行うお考えがあるか、伺います。</p> <p>(4) 安全対策、防災対策を講じていただいておりますが、通学路への防犯カメラの設置について、再度、教育長のご見解を伺います。</p>

2 (要旨)	<p>東村山市特別支援教育推進計画、第三次実施計画について</p> <p>発達障がい等を含め障がいのある児童・生徒一人一人のニーズに応じた教育環境の整備や、学校・教員の専門性の向上、市民への理解啓発など、これまでの特別支援教育推進の状況を踏まえ、これからの東村山市における特別支援教育推進体制の充実について総合的な視点から計画されたものであり、児童・生徒の将来の社会参加・自立に向けて、その推進にあたるものとして第三次実施計画が作成されたと理解しています。</p> <p>そこで、質問いたします。</p> <p>(1) 子どもの困り感を早期に発見し、早期に支援し、小学校就学を見据えた具体的な支援を進めていくことが大切です。教育委員会として、どのようにすすめていくのか、お考えを伺います。</p> <p>(2) 乳幼児から学校卒業後への円滑な移行を図ることを目的とし、地域性と専門性を備えた連携システム構築のために組織の拡充を図りますとありますが、何をどうするのか、教育委員会のお考えを伺います。</p> <p>(3) 東京都の特別支援教室構想に基づくモデル事業実施区市での成果と課題を教育委員会としてどのように把握されているのか、伺います。</p> <p>(4) 本市における、特別支援教室構想の見通しについて、お考えを伺います。</p> <p>(5) 一人一人のニーズにあった教材・教具を活用することで、有効な授業実施や、将来の就労を見据えた支援が行えると考えます。研究、検証をすすめられていらっしゃると思いますが、進捗状況を伺います。</p>
-----------	--